

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

2019年 12月 26日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	義村 弘仁



1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
札幌
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
ユキヒヨウの DNA 実験
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
2019年 12月 22日 ~ 2019年 12月 25日 (4日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
北海道大学、早川卓志助教
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
今回は今後のユキヒヨウの腸内細菌分析及びメタバーコーディングによる食性解析に向けて、サンプルの基本的な処理方法を学ぶことを目的に早川研を訪れた。10月に多摩動物公園で採取したユキヒヨウの新鮮糞サンプル5つを用いて、1日目にDNAの抽出、2日目・3日目にPCRを行った。DNA実験はほぼ初めてだったので悪戦苦闘しながらではあったが、2度目のPCRで無事ターゲット領域を十分に増幅することができた。 今後、木下さんが保管している過去のサンプルも用いてWRCでDNA抽出を行い、北海道大学でシーケンシングを行う予定である。


6. その他 (特記事項など)

図1:実験風景

図2:2nd PCR 結果